

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 049	提案機関名 横須賀市東部漁業協同組合
要望問題名 マス等養殖の技術開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 神奈川県水産技術センターの普及員の指導に基づき新たな特産品として令和4年よりマスの養殖を試験的に始めました。漁の少ない冬季の安定した漁業としてマス等養殖漁業は期待されます。 つきましては、種苗や餌の供給等及び養殖の基礎的なノウハウを指導していただき、将来的には、新たな漁業経営の柱になるように研究並びに指導をして頂きたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 沿岸資源管理・増養殖推進事業、水産業推進対策事業、水産業改良普及活動事業 魚類等養殖技術開発研究		
対応の内容等	県では、本県海面における魚類養殖の実現可能性を評価するため、令和5年度からマサバの海面養殖試験に着手するとともに、付加価値の高い養殖魚を生産するための技術開発を進めているところです。また、令和6年度からは、さけ・ます類の海面養殖試験を実施しており、こうした研究の中で得られた知見等を基に、随時情報提供してまいります。 また、肉質の向上につながる投与餌料や養殖方法の実現を始め、カワウなどによる食害の防止対策、網の防汚対策、養殖期間や出荷サイズの最適化の検討など多くの課題があるところですが、他地域での事例紹介についても情報提供してまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			